

上腹部MRI(MRCP)検査を当院予防医療センターで受けられた方を対象として、
膵嚢胞(膵管内乳頭粘液性腫瘍)における、
生活習慣病・メタボリック関連のリスク要因の検討
に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 予防医療センター 職名 講師
氏名 柏木和弘
連絡先電話番号 03-6910-3533
実務責任者 所属 予防医療センター 職名 講師
氏名 柏木和弘
連絡先電話番号 03-6910-3533

このたび当院では、上記の理由で受診された方の診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる受診者様への新たな負担は一切ありません。また受診者様のプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない受診者様は、その旨、実施責任者までご連絡をお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2012年8月1日より2017年1月31日までの間に、予防医療センターにて、上腹部MRI(MRCP)検査を受けられた方

2 研究課題名

膵嚢胞(膵管内乳頭粘液性腫瘍)における、生活習慣病・メタボリック関連のリスク要因の検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部予防医療センター、消化器内科研究室

4 本研究の意義、目的、方法

膵がんは、わが国で死亡率が増加傾向のある予後不良ながんで、その早期発見は、予後改善のための喫緊の課題です。膵がんのリスク要因として、遺伝的要因以外にも、タバコ、大量飲酒、糖尿病、肥満などの生活習慣病が指摘されています。肥満や膵への脂肪浸潤は、膵の前がん病変と関係があり、過酸化脂質が腫瘍発生の一因である可能性や、脂肪細胞から分泌されるホルモン(アディポネクチン)の低下と腫瘍の進展速度との関係が報告されています。膵がんの前がん病変とされるPanIN(膵上皮内腫瘍)は、ミクロな変化であり、CTなど画像で捉えることは困難ですが、膵嚢胞

や膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）は、画像検査で発見される頻度が高く、前がん性病変として、MRI（MRCP）検査はその発見や経過観察に重要です。

膵がんのリスク因子、特に脂質異常は、IPMNの進展、がん化に重要であると予想され、その検討から得られる知見は、がん化リスク群の囲い込み、がんの早期発見、さらには、がん予防に貢献すると考えられます。そこで、本研究では、脂質異常や肥満に関する項目を中心に、IPMNとの関連を、ドック受診者様を対象として統計的手法により調べることを目的としました。4年間（2012年8月より2016年7月まで）に予防医療センターで上腹部MRI（MRCP）検査を受けた受診者様を対象として、メタボリック症候群、高血圧、高脂血症、糖尿病の有無や、年齢、性別、BMI、内臓脂肪、血液検査値（血糖や脂質関連など）、CTから求めた嚢胞径、膵脂肪沈着の程度などを電子カルテや画像から調べます。これらの結果から、IPMNの診断を予想するスコア化の構築を目指し、このスコア化の妥当性を、直近のデータ（2016年8月より2017年1月）を使用して検証することを目的とします。なお、データは連結可能匿名化を行った上で、厳重に管理し、診療情報の解析などは2018年12月頃までには調査を終了する予定です。

5 協力をお願いする内容

診療録や検査画像のみを使用させていただくため、新たなご負担をおかけすることはありません。代表的な検査画像の一部は、学術集会や学術論文で使用することがありますが、お名前や個人が識別できる情報は一切使用致しません。

6 本研究の実施期間

倫理審査承認後 ～ 2019年 12月 31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報（氏名と患者番号のみ）は、その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

連絡先

病院名：慶應義塾大学病院

病院所在地：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

担当者：慶應義塾大学病院予防医療センター：柏木和弘

Tel 03-6910-3533（直通：平日9時～16時30分）